

巻頭言

湘南鎌倉医療ジャーナルの第3巻1号を発行する運びになりました。湘南鎌倉医療ジャーナルは、湘南鎌倉医療大学の教職員の研究成果の発表の場として、開学3年目の2022年3月に第1巻が発刊されました。以来、新型コロナウイルス感染症の蔓延下、教育・研究共に大きな制約を受ける状況下ではありましたが、継続して発行することができました。今後は、湘南鎌倉医療大学の教職員のみならず、卒業生や、実習先の各病院の職員の皆様方の、臨床研究等の発表の場として活用していただき、より充実した内容のジャーナルにしていきたいと思っております。

湘南鎌倉医療大学は、2020年4月1日に開学し、本年3月17日に卒業式を行い、初めての卒業生を送り出すことができました。大学としての機能が、ひとまず完成したという事になります。今後は、教育内容をより充実させ、日々進歩する臨床現場に即応し得る技術と、患者さんとのコミュニケーション能力を有する医療者の育成に力をいれてまいります。

この1月1日に能登半島地震が発生しました。約250名の死亡者、80000戸を越す住宅被害という大きな地震でした。亡くなられた方々に対して心から哀悼の意を表すとともに、被災された皆様方にお見舞いを申し上げます。徳洲会が設立したNPO法人TMATは、1月1日にすぐに現地に入り、医療活動を開始し、約1か月半に渡り、継続した活動を行いました。湘南鎌倉医療大学は、災害医療・離島僻地医療にも力をいれておりますので、この間に学生さんたちに、ボランティアとして参加してもらおうことを考えましたが、ボランティアの受け入れ状態が十分でなく断念いたしました。今後、学生さんたちに参加してもらえる状況ができれば、活動報告等を湘南鎌倉医療ジャーナル上に発表してもらおうように出来ればと考えています。

学校法人徳洲会 理事長
福島 安義